

令和7年度

宮崎大学工学部
編入学学生募集要項
(学校推薦型選抜)



宮崎大学工学部

工学部の教育

工学部の教育理念

21世紀の工学技術者は、専門知識を身につけるだけでなく、技術者としての倫理観を持つ必要があることなど、幅広い能力が必要とされている。また、その能力も国際的に通用するものでなければならない。さらに、我々を取り巻く環境の様々な問題や高度情報化社会への対応など、従来の技術だけでは対処できない課題が次々に発生してきている。

このような背景のもとで、本学部では十分な基礎学力と幅広い応用力を身につけ、課題探求能力と創造性を持ち、優れたコミュニケーション能力をそなえ、自主的・総合的に的確な判断ができる人間性豊かな専門技術者・研究者の養成を目指す。

工学部の教育目標

教養教育の目標

教養教育は、幅広く、深く、教養豊かな人間性形成を図り、専門教育で学ぶことと合わせて広い視野から物事を考え、判断する基礎的な素養を身につける教育を行う。

- ◎幅広く、かつ豊かな教養を持つ人間の育成を図る教養教育プログラムを充実する。
- ◎人類の幸福・福祉とは何かについて考え、社会人としての基本的モラルを形成できる教育を行う。
- ◎身近な環境問題や全地球規模での環境課題を考え、適切に判断する能力を育成する。
- ◎日本語および外国語によるコミュニケーション能力を育成する。
- ◎情報化社会で不可欠なコンピュータやネットワークを利用できる能力を育成する。
- ◎自然科学系教養科目とも連携し、専門科目の理解に必要な自然科学系基礎学力を育成する。

専門教育の目標

必要な基礎及び専門知識と実践能力を身につけた自立した工学技術者を養成できる専門教育プログラムを構築し、かつ、そのプログラムの点検評価及び改善体制を整える。次のような知識及び能力を身につける教育を各学科の専門教育の中で実現する。

- ◎専門分野に深い興味を持ち、自学自習による自発的な学習能力を育成する。
- ◎自然科学や専門領域に対する基礎知識を身につけ、その知識を基にグローバルな視点から多面的に物事を考える能力を育成する。
- ◎工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、工学技術者として必要な倫理・規範や責任を判断できる能力を育成する。
- ◎身につけた専門知識を課題の発見や探究に利用し、更に課題解決へ応用できるデザイン能力を育成する。
- ◎日本語による論理的な記述、口頭発表及び討論ができ、かつ基礎的な工学英語を使ったコミュニケーション能力を育成する。
- ◎学部は専門基礎の教育を重視し、大学院において高度な専門性と、専攻・分野を越えた幅広い教育を行う。
- ◎学生の知識や能力の向上を厳正に評価し、教員による適切な学習指導と教育内容の改善により基本的な専門知識と課題解決の能力を身につけた人材を養成する。

アドミッションポリシー

1. 求める学生像

工学部では、宮崎県唯一の工学系学部として、「宮崎に根ざし世界に目を向けた工学部」を目標に、人間性豊かで、コミュニケーション能力が高く、確実な基礎学力と幅広い应用能力を身につけ、21世紀の高度な科学技術分野や最先端技術分野で活躍できるような、問題発見・解決能力を備えた創造性豊かな技術者の育成を目指しています。そこで、以下に示す「入学後の学修に必要な能力・適性」を多面的かつ総合的な評価手法によって選考し、受け入れます。

- 1) 工学技術者を目指し、地域社会や国際社会の発展に貢献する意欲がある人（主体性）
- 2) 自ら考え、主体的に学修する目的意識を有する人（主体性）
- 3) 大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な協調性及びコミュニケーションの基本的なスキルを身に付けた人（協働性、表現力）
- 4) 工学における多様な分野にも興味を持ち、創造性豊かな技術力と問題発見・解決能力を身に付けて社会に貢献する意欲のある人（学問への関心、思考力）
- 5) 工学専門分野を修得できる基礎学力を有する人（知識・理解、思考力）

2. 入学者選抜の基本方針

編入学（学校推薦型選抜）

成績証明書、推薦書および面接によって、高専や短期大学等から志望するプログラムへの3年次編入に相応しい基礎学力を備えることを評価します。また、志望理由書および面接によって、協働性、表現力、学問への関心および主体性について評価します。

編入学（一般選抜）

学力試験によって、高専や短期大学等から志望するプログラムへの3年次編入に相応しい基礎学力を備えることを評価します。また、成績証明書、調査書および面接によって、協働性、表現力、学問への関心および主体性について評価します。

I. 募集プログラム及び募集人員

プログラム	入学定員
応用物質化学プログラム	若干名
土木環境工学プログラム	
応用物理工学プログラム	
電気電子工学プログラム	
機械知能工学プログラム	
情報通信工学プログラム	

II. 編入学年次

令和7年4月に3年次に編入学する。

III. 実施方法

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者で、出身学校長が人物及び学力ともに優秀で、健康状態が良好と認め、責任をもって推薦できる者。
 - (2) 短期大学を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者で、出身短期大学長が人物及び学力ともに優秀で、健康状態が良好と認め、責任をもって推薦できる者。
- (注1) 合格した場合は、入学することを確約できる者であること。
(注2) 各学校からの推薦者は、各プログラム2名以内とする。

2. 出願手続

- (1) 必要書類等請求 令和6年4月11日(木) 17時まで(必着)
<送付資料> 写真票・受験票 及び 振込依頼書
<請求方法> 市販の封筒に【必要書類等請求用シート】を貼付し、返信用封筒として【レターパックライト(370円)】を同封し請求してください。
- (2) 出願期間 令和6年4月15日(月)～令和6年4月19日(金) 17時まで(必着)
 - ア 受付時間は、午前9時～午後5時まで。(土曜日・日曜日及び祝日を除く)
 - イ 出願書類等を送付する際は、レターパックライト(370円)を使用すること。

<送付先>

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学工学部 教務・学生支援係
編入学試験(学校推薦型選抜)担当 行
TEL: 0985-58-2874

3. 出願書類等 様式はホームページよりダウンロード・印刷（A4サイズで印刷）白黒可

※所定の欄はすべて明記すること。

	書 類	摘 要
1	編 入 学 志 願 票	※印欄には記入しないでください（片面印刷）
2	写 真 票	必要書類等請求にて取り寄せた様式を使用すること
3	受 験 票	写真【上半身無帽正面向きで、直近3ヶ月以内に撮影したもの】は、所定欄に貼付すること
4	推 薦 書	出身学(校)長が発行したもの（両面印刷）
5	志 望 理 由 書	本人が記入したもの
6	卒業（見込）証明書	出身学(校)長が発行したもの
7	成 績 証 明 書	最終学歴の成績証明書（厳封したもの）
8	入 学 検 定 料 （30,000円）	必要書類等請求にて取り寄せた振込依頼書を使用し、検定料を納入すること
9	払込証明書貼付台紙	検定料払込証明書（C票）を貼付すること
10	返 信 用 封 筒	レターパックライト（370円） 【受験票等を送付するので、郵便番号、住所及び氏名を明記すること】

注意事項

- ① 出願書類等提出後は、志望プログラム等の変更はできません。
- ② 提出書類に不備がある場合には受理しないことがありますので十分注意してください。
- ③ 受付後の提出書類等は返還しません。
- ④ 出願手続及び入学手続において不正な行為があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- ⑤ 提出物受理後は、いかなる理由があっても検定料の返還には応じません。

ただし、検定料の支払い後、出願しなかった場合は、返還手続きを行うことができますので、期限内に手続きを行ってください。なお、期限を過ぎてからの請求には一切応じません。

返還手続き方法は、以下の URL を確認してください。

※入学検定料返還手続きについて

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/nk-henkan.html>



4. 選抜方法

入学者の選抜は、面接試験及び出願書類（成績証明書、出身学校からの推薦書及び志望理由書）の結果を総合して行う。

プログラム	面接試験の内容
応用物質化学プログラム	面接（基礎的な英語、数学、物理化学及び有機化学に関する口頭試問を含む）
土木環境工学プログラム	面接（口頭試問を含む）
応用物理工学プログラム	面接（口頭試問を含む）
電気電子工学プログラム	面接（基礎的な英語、数学、電磁気学、電気回路に関する口頭試問を含む）
機械知能工学プログラム	面接（口頭試問を含む）
情報通信工学プログラム	面接（基礎的な英語、数学に関する口頭試問を含む）

5. 試験期日及び場所

期日：令和6年5月14日（火） 午前9時00分より

場所：宮崎大学工学部

6. 受験上の注意事項

- (1) 受験の際には、必ず本学の受験票を持参すること。
- (2) 集合時刻 午前8時30分
- (3) 指定された時間に遅れた場合、特別な事情がない限り面接を認めない。
- (4) 集合場所 工学部北側入り口（工学部A棟入口）

7. 合格発表

- (1) 令和6年6月3日（月） 午前10時
- (2) 本学ホームページでの掲載のみで発表を行う。なお、ホームページの合格者受験番号の掲載は情報サービスの一環として行うものであり、合格者本人宛に郵送する合格通知書が正式なものとなるので、必ず合格通知書を確認すること。また、選考結果を同日付けで推薦学（校）長宛に郵送する。
- (3) 電話等による合否に関する問い合わせには一切応じない。なお、合格者は合格通知書に同封する入学確約書を6月28日（金）（当日消印有効）までに提出するものとする。

7. 不合格者の取扱い

「学校推薦型選抜」の結果、不合格になった者で「一般選抜」の受験を希望する者は、所定の方法により改めてインターネット出願すること。ただし、成績証明書は、提出する必要はない。

IV. 入学手続

(1) 入学手続日 令和7年2月下旬までに行う。

(入学確約書提出者に対して、令和6年12月下旬に入学手続書類等を送付する。)

(2) 納入金

① 入学料282,000円

(注1) 入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくことになります。

(注2) 既納の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

ア. 入学料を払い込んだが、入学手続をしなかった場合

イ. 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

※返還にかかる手数料は、原則、納入者の負担とします。

② 授業料前期分267,900円後期分267,900円年額535,800円

(注1) 授業料は、新学期開始後にお支払いいただくことになります。

(注2) 授業料の納入は、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。

前期の口座振替日は、初年度は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬頃の予定です。

(<https://www.miyazaki-u.ac.jp/campus/fees/jugyou/>)にてご確認ください。

(注3) 授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。

(注4) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) 入学手続の際に提出を求める書類等

合格者には、合格通知書、入学手続関係書類を送付します。必要事項を記入のうえ、書類を提出してください。また、本学の受験票を提出してください。

(4) 高等教育の修学支援新制度・入学料免除・入学料徴収猶予・授業料免除及び徴収猶予・奨学金

希望する方は下記宛先に個別にご相談ください。

高等教育修学支援体制、入学料免除・徴収猶予、授業料免除・奨学金に関する問い合わせ先

宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課 電話：0985-58-7976、7140（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

本学学生支援関係HP ※最新情報は以下のサイトをご参照ください

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/>

(5) 在学中の保険制度について

本学では、学生が安心して教育研究活動ができるように、学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び学研災付帯賠償責任保険（略称「学研賠」）を取り扱っています。「学研災」は、正課中、学校行事中、課外活動中及び学校施設内にいる間、並びに通学中に生じた急激かつ偶然な外来の事故により、加入者が身体に傷害を被った場合に災害補償する制度であり、全員加入することをおすすめしています。（但し、学部によっては別途指示がある場合があります。）また、「学研賠」は、加入者が教育研究活動中に他人にケガを負わせ

た場合や、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度です。

これらの保険制度についての詳細と加入手続きについては、入学書類と併せて送付します。

在学中の保険制度に関する問い合わせ先

宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課 電話：0985-58-7976、7140（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(6) 学生寄宿舍への入居

学生寄宿舍に入居を希望する者（外国人留学生は除く）は、11月初旬に掲載する「学生寄宿舍入居申請要項」をダウンロードし、同要項にある「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。

詳しくは、本学学生支援関係HPをご覧ください。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/news/attention/campus-life-info/2022/11/dormitory.html>

V. 編入学後の履修について

- (1) 本学卒業の要件として、2～4年間で在学し所定の単位を修得すること。
- (2) 高等専門学校及び大学等で修得した単位を、本学部における授業科目の単位として読み替え申請の希望があった場合、認定することがある。なお、申請に際しては、単位認定資料（最終学校のシラバスなど講義内容がわかる資料）及び成績証明書（素点入り）を必ず提出すること。

VI. 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願書類提出前に宮崎大学学生支援部入試課へご相談ください。相談内容によっては本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早急にご相談ください。

次表に相談例を示しますので参考にしてください。ただし、この相談例に限定するものではありません。

① 相談期限

令和6年4月17日（水）までとします。

出願締切後に、不慮の事故のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合については、早急に宮崎大学学生支援部入試課へ連絡してください。

② 相談方法

宮崎大学のホームページから相談申請書をダウンロードして、次の内容を記載し、医師の診断書等を添えて提出してください。（郵送可）

ア 志願者氏名・志望学部・学科

イ 障がい等の種類・程度

ウ 受験上・修学上の配慮を希望する事項

エ 出身学校でとられていた配慮事項

オ 日常生活の状況

カ 住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うこともあります。

※相談申請書ダウンロード先 : <http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/1789-2.html>

③ 相談先

〒 8 8 9 - 2 1 9 2 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学び・学生支援機構入試課
電話 0985-58-1738 / F A X 0985-58-2865
(土曜日・日曜日及び祝日を除く)

相 談 例	
① 視 覚 障 が い	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は困難なもの
② 聴 覚 障 が い	補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は困難なもの
③ 肢 体 不 自 由	1. 肢体不自由により、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの 2. 肢体不自由により、常時の医学的観察指導を必要とするもの
④ 病 弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患により、医療又は生活規制を必要とするもの 2. 身体虚弱により、生活規制を必要とするもの
⑤ 発 達 障 が い	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの
⑥ そ の 他	①～⑤以外の者で配慮を必要とするもの

Ⅷ. 個人情報取扱いについて

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (4) 上記（2）及び（3）の各業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より該当業務の委託を受けた業者において行うことがあります。
- (5) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、入学料免除、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料等徴収に関する業務を行うために利用します。